

をめぐる 神戸子達

牛尾 吉朗さん
<牛尾工業社長>

この人は見るたびに顔が違う。
「カメレオンみたいやろう」と言
う。忙がしい人だからだろう。氏
の友人は「よう描き過ぎや」とい
うけど、そのときはこう見えたん
だから仕方がない。ホント。



砂野

仁さん

△神戸商工会議所会頭

一八歳のときがた。なり
一朝ごたり笑ひ。六七歳
の新若者。の後半。七十五
歳の誕生日は飲むことよ
話立てる人だな。酒を飲むか
はなし。まさに酒もかなか
い。オドロイマかし。横溝



今村

綾子さん ▲ながはまフラワーリングマネジャー

長濱律子さんとの名コンビで、フラワーデザインのアイデ
アマン、長濱さんのマネージャーである。この人も工
ネルギッシュな奥さん。街を歩く大を見ても、あのシッ
ボで花が出来ないかなア。と思うんだそうだ。犬がシッ
ボを巻く人。



長濱

律子さん

△アートフラワーデザイナー

エネルギーのあり余った奥さんだ。と言っても、誤解し
てはいけない。なんせ黒の皮で花を造る。徹夜徹夜で作
品を間に合わせるエネルギーのことである。





貝原 六一さん <画家・行動美術>

神戸行動美術の“親分”。神戸まつりの推進者。私は小さなマンガを描くが、彼は社会に大きな“絵”を描く能力がある。描いたら西郷隆盛に似て来た。



畠 マス子さん <工芸家>

畠専一郎さんの妹さんである。何時のか知り合いになっていたという間柄。大分前だが、ワイワイ多勢で、自宅へ押しかけ、ご馳走になったことがある。まだお返しもしていない。



さむらい
士の
ママ

可愛い感じをなんとか物にしようと一生懸命になったが、どうかな……。その上、このママはグラマーである。いや……、見たわけではない。カンジ、カンジがですよ。

諸岡

博熊さん

△神戸市土木局参事▽

お役入らしくないところが彼らしい。人呼んで“超能力者”。という。“文化開発の進め。”の著者。未采派である。少し才能を分けて欲しいですな。



をめぐる 神戸子達

三宅 啓子さん

〈サントノーレ
ファッションデザイナー〉

この顔を描いたとき顔をジッと見させてもらい、その後、“神戸ファッションパザール”のコンテストで声をジッと聞かせてもらった。描き屋はトクデスナア。



丘



あつしだん 〈マンガ家〉

「鼻は丸うで大きい」「目は小さい」「可愛い顔やなア」「童顔でしょう」「ウン、『ひんなど』るやな……」描き屋。

西村

隆さん

△県民センター▽

長男の結婚式のとき、追加をしたら金が足りなくなつて、ツケをして帰らしてもらった仲。「鼻の下を長くしたもの似るんやないか」と言う。「私と同じですなア……」



岡田 淳さん 〈マンガ家〉

仲間の顔は描き難い。私が描くと誰れでも優しい顔になるそうだが、岡田君の顔は優しくなり過ぎたかな……。





赤根 和生さん <美術評論家>

私も二日酔い。彼も二日酔い。モデルと描き手がアーシンド。こちらはそれでも、あとでの酔が気になるので“懸命”だが、モタモタモタモタ彼も疲れてトロリトロリ「も一度描き直すことにしましょう」。



山下 駿児さん

<テレフォンサービス社長>

ファイトの固りである。若さがある。真面目である。アイデア・マンである。「先生、ほめ過ぎです。豪快に見えますが、これでものすごうテレ屋なんです」と顔を赤くする。テレfonサービスの社長さん。



滝
えり子さん ▼アルバトロス▼
スクク女っぽい歌をうたう。私も歌が好きなんだが、この人の前で歌ったことがない。プロボーションのいい人だ。“先生、どこを見てくれるんですか。”と言われそうになつて目を移した。



西村真一郎さん

△朝日放送プロデューサー△

飲み仲間、騒ぎ仲間。いい顔をしているのに気が付いていないような男である。「結婚したんやつてなア」「ハ！」いつものニコニコ顔だが、落ち付いた感じがする。星間のせいかな……結婚したからかな……。



世界最高の品質を
誇るアラガワの支店

赤いチェックのテーブルが
ピッソアの香りを
ひきたてます

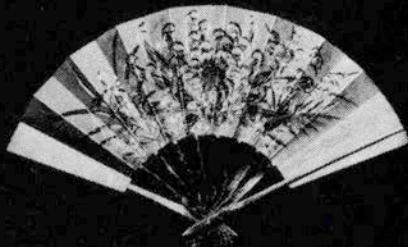


レストラン
砂時計

正午～夜1時
日曜は夜9時まで
月曜定休

生田区山本通1丁目35
東洋ハイツ1階

TEL 241-1857



真心を伝える

あけまして
おめでとうございます

記念品・贈答品
平山商会

神戸駅前 TEL(078)351-1551(代)

★神戸の催し物 1月ご案内

（音楽）

★アップル・シュリー・フォーケコ

ンサート 11日（土）3時 神戸文化小ホール

二五〇円

★谷山明彦カルテット 11日（土）5時 芦屋ルナホール

三〇〇円

★甲南大学フォーケンシング同好会

フェエクエルコンサート 15日（水）3時 神戸文化中ホール

三〇〇円

★フォーリーブス 15日（水）12時（②）3時 神戸国際会館A・二七〇円 B・二

二〇〇円

★辻久子バイオリンリサイタル 17日（金）7時 神戸文化中ホール

ル民音・一〇〇〇円

★バロック音楽の夕べ 17日（金）6時半 芦屋ルナホール

ル大人・五〇〇円 中高生・三〇〇円

★関西学院グリークラブリサイタル 19日（日）神戸国際会館

民音・一〇〇〇円

★新春・第の調べ 20日（月）6時半 神戸国際会館

A・五〇〇円 B・三〇〇円

★兵庫女子短期大学コーラス 24日（金）6時半 神戸文化大ホール

民音・会員・二二〇円

★第23回市民コンサート 25日（土）6時半 神戸文化小ホール

ル 無料

★新春特別公演「神戸・元町・さんのみや」「あめの中のおたんやん」 2日（木）11日（土）11時半 神戸文化大ホール

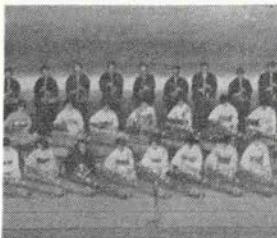
二〇〇円 A・二九〇〇円 B・二

★五木ひろし 26日（日）①11時50分 神戸文化中ホール

分 神戸文化大ホール

〇〇円 A・二九〇〇円 B・二

琴と尺八の音色・筝の調べ



民音・一五〇〇円

出演／デューク・エイセス、加茂さくら、砂原美智子、ブルーコメツ

フンモスクワ放送交響楽団 22日（水）7時 神戸文化大ホール

ル S・四八〇〇円 A・四三〇〇円 B・三八〇〇円 C・三〇〇円 D・二五〇〇円

★桑原康雄マンドリンリサイタル 22日（水）7時 神戸文化中ホール

A・七〇〇円 B・五〇〇円

★バロック音楽への招待 23日（木）6時45分 神戸文化中ホール 神戸文化友会員・二二〇円 一般・一四〇〇円 演奏／大阪テレマンアンサンブル

お話と指揮／延原武春 第一部バッハ篇 第二部バッハ篇

「オットー・ヒューバルト」と呼ばれる日本人 A・六〇〇円 B・五〇〇円

★児童劇「オズの魔法つかい」 19日（日）10時半（②）1時半 神戸文化大ホール

ル 前売・八〇〇円 当日・一〇〇円

★東京演劇アンサンブル

「オットー・ヒューバルト」と呼ばれる日本人 A・六〇〇円 B・五〇〇円

★ジョン・バリーランドオーケストラ 24日（金）6時半 神戸文化大ホール

一般・二八〇〇円

★邦楽の夕べ 25日（土）6時半 神戸文化小ホール

ル 無料

★新春・第の調べ 26日（日）①11時50分 神戸文化中ホール

分 神戸文化大ホール

〇〇円 A・二九〇〇円 B・二

★神戸五流能 27日（月）6時45分 神戸文化中ホール

ル 神戸文化大ホール

三五〇〇円 A・二五〇〇円 B・二二〇〇円 C・一〇〇〇円

★春蝶・枝鶴二会 28日（火）①2時（②）6時 神戸文化大ホール

自由・七〇〇円（前売五〇〇円）

出演／桂小文枝、桂三枝、桂米丸

三遊亭円楽

五流住舞／宝生・嵐山辰巳孝

〇〇円

五流住舞／宝生・嵐山辰巳孝
金春・田村金春晃美
今井幾三郎喜多・三井寺和島
高木太郎観世・山姥
片山博太郎



ミヤコ蝶々



楊貴妃

★美しい日本のうた 21日（火）6時半 神戸国際会館

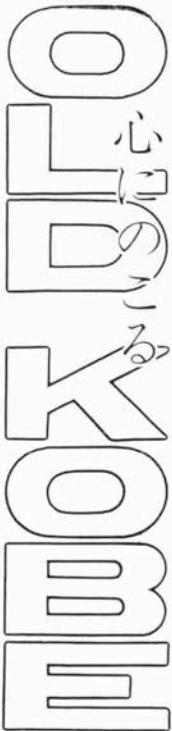
奈良富士子ほか

奈良富士子ほか

平井太郎、佐山俊二、

木みのる、平井太郎、佐山俊二、

奈良富士子ほか



4 あおばしげる

★テパートの草分け的存在

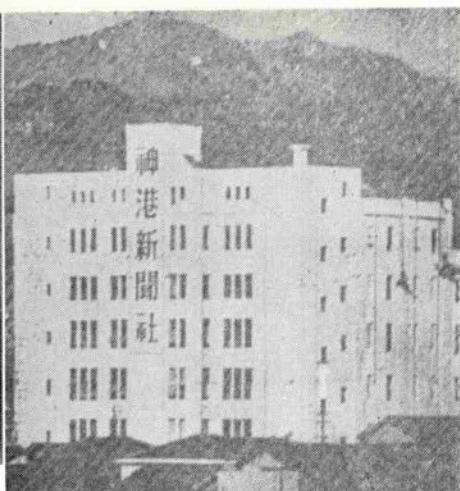
勧商場とは今日では耳慣れぬことばかりだが、「広辞林」や「言海」などの辞書には「勧商場は勧工場ともいひ、多くの商店がそれぞれ日用品などを出品して一箇所で販売する建物のことである」といった意味のことを書いている。さて、この勧商場が登場した年代を拾うと、諸説あるが、最も早い説では明治初期からあつたらしい。戸戸の湊川神社の記録には明治六年頃からあつたとするされているし、ずっと下がつて昭和十三年の記録には「境内に共同で各種の商品を売る販売小屋（勧商場）の建設を願い出たものがあり、これを許可した」とあり、ぜんざいやカマボコ、洋酒、各種飲物、石鹼、はきものその他各種の日用品が販売された。その後この勧商場に隣接して水新（みずしん）という兵庫の有名な西洋料理屋が開店していたものである。

神社に関係深い勧商場は東地区の三宮神社境内にも現われた。ハッキリした時期はわからないが、明治三、四十年代であったことは事実らしい。昔の三宮神社の境内は現在よりもなく、北側の今広い通りを包含して浅井水店のあたりまで占有していた。この境内の西側に隣接して丹下良太郎市会議長の私有地があつたが、同氏はここに三階建ての勧商場を建て社長に就任した。これができたのは明治四十一年で現在のバウリスタのすぐ東側にあったが、昭和二十年三月のアメリカ空軍の大空襲で焼失した——と荒尾親成氏は語っている。もつとも昭和二十年まであったといつても、勧商場としての役割は昭和初期にはすでに終つていたわけで、大東亜戦争が始まつてからは町内会の事務所等に利用されていた。また、

この頃前後して同乗内には活動写真館（世界館）三宮キネマに改名、三宮クラブ、万国館）や芝居の歌舞伎座、雑居亭などの寄所（よせ）が作られていて庶民の娯楽場として賑わっていた。飲食店もあちこちにあって、すし屋やコーヒーハウス、西洋料理屋などには多くの客が出入りしていたが、なかでも喫茶店兼食堂のはしりともいえるカフェエー「ガス」が有名で、コーヒーは五銭で砂糖入れ放題、当時はまだ珍しかった洋食が二十五銭だった。店内には蓄音機が各種の新しい音楽を流していくモダンなふんいきにあふれていたため、その頃の文化人たちが彼らのたまり場にしていた。今東光や村山知義、竹中郁、幾人の洋画家たちがよく訪れた。元町通の計量器店のむすこの今井朝治という洋画家もその一人だったが、すこぶる美男子の彼は奇行でも有名だった。彼はトルコ

タル作りで内部は木造建築だったが、階段がなくスロープ通路で、二、三階へ上がるようになつていていたため、子どもらは走つて上がつっていた。だが、室内の床がお粗末な木造だったため、荒々しく歩くと反響が下階にひびくのでそつと歩くように注意されていた。ここは各商店の寄り合い所帯で、呉服屋はじめ金物屋、荒物屋、ソロバン屋、おもちゃ屋等が店を開いていたが、明治四十年脇浜小学校二年生だった荒尾氏は、同年二月大阪の城東練兵場で行われたアメリカの飛行家マースの初飛行に刺激されて、この勧商場へ竹とんぼをよく買いついた思い出があると語っている。なお、食べ物店は少なかつたが、夏には物干台をひろげたような屋上で納涼ビアホールが開かれたものだ。

この頃前後して同乗内には活動写真館（世界館）三宮



新聞地に残る元勧商場、一時神港新聞社が使用（「兵庫・雪風20年」より）



活動写真の「萬国館」のパンフレット（昭和4年）
提供・荒尾親成氏

帽子をかぶり、赤マントを着て元町や三宮を歩き回って人々をアッといわせたものだ。ところで、新開地にも三宮と同じ頃にすでに勧商場が店を開いていた。新開地にはじめて作られた相生座（劇場）が火事で焼けて再建されたのが明治四十年十二月、翌年そのすぐ向かいにできたのがそれである。ここも三宮の勧商場とよく似た二階建てで、二階には雑貨品などが並び、食堂があつた。だが、この呼び物は二階よりも階下に同時にオープンした二つの活動写真館である。山側に電気館、浜側に日本館、いずれも常設館で、たちまち新もの好きの神戸市民の人気を集めた。だが、大正九年頃これが増築改造されて五階建てのビルとなると、名も博品館（藤田松之助経営）と改められてはじめて今日のデパートらしい商売を開始した。

もつともデパートとしてはそれ以前から大丸百貨店（ただし、元町通四丁目にあり、昭和二年に三宮の現在地へ移転）があり、つづいて三越、そこもできたので、これを神戸の「デパート第一号」とは呼べなかつた。だがこんどは一二階を主として各種の商店が入りこんで店を開きしたので、本筋のデパートに負けないいさいとなつた。だから大正十五年にさらに神戸デパートと改称されたのも当然の成り行きだつた。

この頃兵庫区西出町に住んでいて毎日湊川公園西側の市立第一高女へ通学の途次この前を往来していた高山ますえ夫人（現在須磨区月見山北町で茶商「農樂園」経営）

は「神戸デパートにはハキモノ、衣料品、おもちゃ、その他日常雑貨がたくさん並べられていました。一度一階のハキモノ屋の店頭でダンス靴をみつけて乙女心に欲しくなり、買ってほしいとねだつて母親から叱られたのをおぼえています」と語つてゐる。また、同年、この屋上から聚樂館東に今も建て物の残る白木屋（後年喜久屋食堂）屋上に向けてラジオ放送の初テストが行わされて市民の注目を集めた。デパートや勧商場式のものは大正末期頃他にもあつたが、三越のすぐ東側にも一時元町デパート（井上油店経営）というものが作られたし、多聞通りの菅園の西隣りにも勧商場風の店があり、雑貨を並べクーポン券を発行したりしていた。要するにこれらの勧商場は、今日の百貨店（デパート）の草分け的存在だつたわけで、神戸だけではなくて、東京（銀座）や大阪などの大都会などにはいち早く出現していたものである。

今日新開地の神戸デパート跡のビル（戦後神港新聞社がしばらく営業）には昔の面影はないが、代わつて同じ名前で長田区大橋五丁目に営業をつづけている神戸デパートが、神戸市の応援（融資）もあつて、客からかなりの人気を得てゐることは、長い年月の間に市民みずからの手による庶民デパートが欲しい――という、かねての市民の念願を果たしたものとして、興味深い気がする。

Air Mail from New York 〈17〉

住まいは頭痛の種

〈在ニューヨーク〉

え・たかはし もう



筆者

これはある日本の海運会社の支店勤務のその奥様に聞いた話。

本社の人事課長が、従業員の生活状態、厚生施設等をお役目がら視察にニューヨークにやつてきた。ということもあろうけれど、人事課長さんは最近海外旅行の機会もない。いちど気分転換の意味もあって、世界一周したことないか、ということではないかと思います。そこで平均的駐在員として私のご近所の家庭を視察することになったのでしよう。

ご主人の年齢は三十五歳、奥様に子供二人。まあ典型的な家庭ですね。その住まいは私の近所で、ニュージャージー州のハドソン川沿いの高層アパート。大体二十五、六階で、居間からハドソン川とマンハッタンが一望のものに見わたせるところ。アパートではあるが、このごろのニューヨークの家主は早いところ建設資金の回収をやらないと金利が高いというわけで、入居者のうちから、コンドミニアムへの契約変更を迫つてくる。この制度は、つまり分譲アパート型式で、頭金は十萬ドルくらい、あと分割払い。ただし、日本より有利なのは、分割払い分にかかる銀行の利子が、所得税申告のとき、所得から差し引かされることです。このアパートで大体五、六万ドルと見ていいでしよう。

日本円にして二千万円以内。これに相当高い利子がつきますが、そのアパートは、大体こちらでいう2ベッドルーム。つまり（これからは日本式の略語を使います）

しはリビング、Kはキッチンというふうに、Lの広さは普通日本の十二畳から二十畳、それにKとB（便所兼バスルーム）、ここへ二寝室ついているわけです。一寝室の広さはほぼ十畳から八畳。こんな二寝室型が子供二人の家族もとの平均的なアパートと考えて下さい。

それを家賃でいくと、月三百五十ドルから五百ドル。これがハドソン川沿いのニュージャージーの値段。同じもので、マンハッタン五番街にいま建築中のアパート（持主は例のオナッシスとか聞きました）になると値段

が十三万ドル。こんなアパートにはいるのは世界の金持ちか世界の大企業、と目標を定めて、日本語のダイレクトメールも日本の商社に送っています。

さて、もとの船会社の話に返つて、その人事課長さんベランダから、エンパイア・ステートや世界貿易センターの見えるアパートにやつてきて、いきなり怒り始めたそうです。

「これはゼイタクだ。キミ、アラビアのアブダビルにいるわが社の連中はアメリカのカマボコ兵舎に冷房もなしに寝起きしてがんばっているぞ」

それは事実でしょう。ところでこれに反論したのは、その船会社の社員。

「課長！ ニューヨークではいくらでも安いところはあります。スチュディオ（ベッドルームなしのLD寝室兼用でBKのついたの）で百五十ドルの部屋に、三人同居。一人当たり一月五十ドルで住めといわれれば住みま

す。だが、こういう住まいでは、だれも自分や家族のイノチの保証はしてくれません。日本人の女性がウエストエンドで殺された話を課長も新聞でお読みになつたでしょう。それから、取引先の米人とは、日本みたいに、どこかのバーで接待というわけにいかない。家庭に招くとその住まいで人間の格や会社の格を判断するんですよ。わが社は日本の海運会社のトップ3にはいってるじやありませんか」

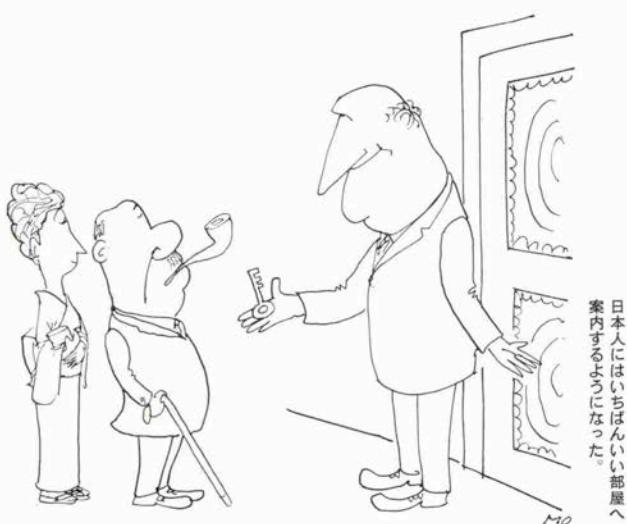
以上のような説明であったと私は聞きました。この中にはウソもあるし、ホントもある。また、いい足りない点もあります。まず、どんなところに住んでいるかを、米人はそれとなく聞きます。これで相手の会社における経営状態まで判断の材料にします。次に

「危険」というのは半分ホントです。マンハッタンの、安アパートはいくらもあるが、独身男子はいいとして家族連れでは住めません。なにもピストルを突きつけられるからではなくて、夜はにぎやかな道路以外はだれも歩かないから無気味です。また学齢の子供があつても、学校のいいのがない。その点、学校は郊外でなければならぬし、いい先生と施設のととのった町は、固定資産税がとても高い。(この税率は市町村がきめる)だから、家賃や不動産の値の高いところほど教育施設は備つてゐるが、ニューヨークはその点赤字地方自治体だから税金が高くて小学校などはダメ。

こういつた悩みはこちらでも山ほどあります。だからある日本の会社はコンドミニアムの一階を全部買い切つたり、郊外の一軒建ちを数軒買って社宅にしています。

だが、かの人事課長さんの腹立たしさもわかるのですね。一所懸命貯金して、会社から前借りりして分譲住宅を手に入れたところで、アメリカへきてみれば、若い社員が日本人から見れば豪華ケンランなアパートに住んでいて、しかも会社持ちというのですから。一方、こちらの家主たちは、十年前は日本人など東洋人はお断りといつたのに、いまは日本人は金払いがいいから、いちばんいい部屋へまず案内するようになったのだといいます。だいいち、日本人とみれば、いまや家賃をどんどん高くするそうです。それでもはいってくれるから。

さて、七年こちらで住んでこの間日本へ帰った同じアパートにいた奥さんから手紙がきました。六畳三室のアパートといふので帰つてみたら六畳といふのは、アメリカのキッチンかバスルームの広さだったので、子供がノイローゼになつたとか。ともかく、日本と米国では「空間感覚」というか、これが全く別のもの。しかし、日本人ならそのうちに馴れるでしょうし、ともかく日本はセマ国で、そのなかから経済も政治も文化も生まれたのだから、どちらがどうとはいえないけれど、土地のあり余っているアメリカは、ときどき恐しい国だと思います。





映画新春・こと始め 揃いも揃つて花まん開

淀川長治

（映画評論家）

正月ぐらは家でノンビリ、とおっしゃいますな。正月ぐらは御家族揃つて映画見物、いえタダのテレビでなくてたまには映画館にも……どーぞ。

★エアポート'75

ヒコーキが空中激突。片や小型一人乗りジェット。これが心臓マヒの即死。これが正面からジャンボ・ジェット超満員ボーリングにドッカーン。小型は空中惨禍。ボーリングは二階バイロット室の右に大穴。操縦士一名その穴から空中へ吸いとられ他の一名即死。残る機長一名は瀕死。かくてこの旅客機操縦士無しのメクラ飛行。さていかに相成りまするや、アナタとにかく操縦士無しのヒコーキなんかに乗つてごらんあそばせ。主演チャールトン・ヘストン、カレン・ブラック、その他いろいろ。「エクソシスト」のジャリ娘リンダ・ブレヤ。さらに懐しやうれしや、往年のスターのグロリア・スワ



▲お上品とおげれつ「エマニエル夫人」。

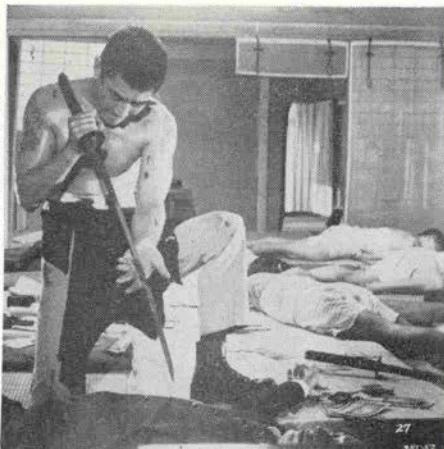
★シネ・プラボー！

珍中の珍。活動写真の始まりの珍らしくもおかしくも貴重なるフィルムを集めた一時間四十八分。途中で飽きるでしょう？ とんでもゴザイマセン。もう時間のたつのも絶体にお忘れ。第一部は無茶苦茶に古い活動写真。第二部はドタバタ・コメディと連続活劇。パール・ホワイト、ルス・ローランド、ハアリー・ホーディニ。ああ私は呼吸が止まるばかりのコーエン。とにかく活動写真が日本に初めて来たのが明治二十九年（一八九六）。それも神戸の神港俱楽部。そんなころのフィルム……それが第一部にイッパイ！

★007／黄金銃を持つ男

黄金といえば東洋。ダイヤモンドといえば西洋あるいはアフリカ。これが西洋人の常識。それで今度は東洋エクゾチズムを盛りこんでブルース・リー・スタイルのカラテ大活劇。あれよあれよとこのデタラメの面白さ。ロジャー・ムーアのボンドは胸毛がなくてちとモノ足りないが男のくせにオッパイを三つもつけたその秘術もあいまして、共演のクリストファー・リーの怪奇役者とチヨーチヨーハッジの劇画的大アクション。監督はガイ・

ンスン（きれいですゾ）とマーナ・ロイの特別参加。監督はジャック・スマイト。どうしてそのヒコーキ助かるの……そんなコトここで申せるものですか。ハイ、映画館でハラハラとごらんあそばせ。ドッキン！



►ギリとヤクザが健さんともども輸出されると、東映顔負けの「ザ・ヤクザ」。

ハミルトン・ボンド・ガールズは今回三名。いずれもきわどく色っぽく。

★ザ・ヤクザ

ザがついたりするとカッコいい一つみたい。「追憶」「大なる勇者」「ひとりぼっちの青春」「インディアン狩り」シドニー・ボラック監督が高倉健とロバート・ミッチャムと岸恵子を使って日本のギリとヤクザの御紹介。東映顔負けの、ラストの健サンのもう肌脱いだタテがいい。けれどもこれを見ていると日本人はみんなイレズミして小指をチヨン切るみたいで、西洋人はさぞや日本をコワイと思うであろう。ギリはつらい。ギリはこわい。ギリギリ・チャンバラ現代劇。

★エマニエル夫人

きれいなきれいな主役女優（シルビア・クリスティル）が、きれいなきれいなLPのジャケット・カバーそのままでのキャラ色彩の中で、サカリのついた猫みたいになるお上品とおげれつのセックス・コーエン映画。これを氣どつて紫のケシの花と呼ぼう。フランス映画。ジュス・ジェーキン監督。

★個人生活

政治家のアラン・ドロンなんて。ところがサマになつてゐるんだから。妻子を捨てて、若きトップ・モデル



►ドロンの政治家なんて……？「個人生活」。

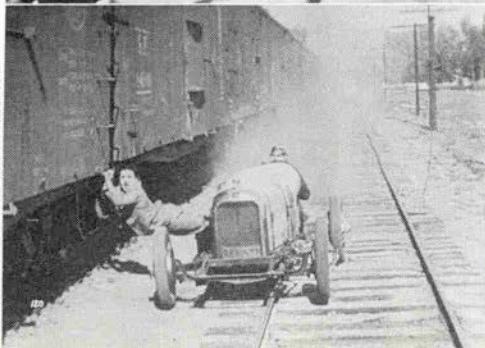
（シドニー・ローム）と狂恋悲恋。女の自殺。ドロンの涙。いい線いつています。カッコいい。そしてアホらしい。監督はピエール・グラニエ・ドフェール。

★大地震

とにかくセンサラウンド方式と称する音響効果がバツグンでグラグラドカドカジリジリドカーンの、そのゆれ方と音響で見えて中腰になるという（ハイ私まだ見ていません）。とにかくロサンゼルス市が目茶目茶になつて、そのための大洪水。チャールトン・ヘストン、エヴァ・ガードナー、ジョージ・ケネディその他いっぱい。監督は才人マーク・ロブソン。そしてヘストンの役は第一級建築家。その彼、この大地震でもろくも大ビルディングの崩壊にさぞやジシンをなくしたであります。

★新おしゃれ泥棒

これはまたキャンドレス・バーゲンとチャールズ・グローディンが世界中のダイヤモンドの原石を集めたロンドンの大金庫を狙う超豪華泥棒奇譚。というとまたかとおっしゃるな。底抜け、いきなデータラメ映画で007のデータラメお遊びとちがつて、そのダイヤモンド・コレクタの豪華お上品振りが見もの。監督はアラン・アバキ。



女体自慰

〔30〕

H・ジユニア

え・浅野俊一

プロフエツシヨ寝ル

H・ジユニア氏は、今度のヨーロッパ女体探訪の旅に出る前に、旧知のダニエルに「これぞパリジエンヌ」という、世界一のプロフエツシヨネル（フランス語で娼婦のことをこう呼ぶ）を依頼しておいたのである。

案の定、H・ジユニア氏がパリのホテルに着くと、早速、ダニエルから「夕食後、女の写真を持っていくので選んでほしい」と電話がかかってきた。モデル、人妻、女優、高級ブティックの店員等々の素晴らしいパリジエンヌの中から、好みの女を選んでいる自分を、H・ジユニア氏は想像しながら気もそぞろ、チキンのクリーム煮で腹ごしらえしてロビーに出ると、

「あら！ H先生じゃありません？」

と、若い日本女性に声をかけられた。昔教えた大学の卒業生のY娘なのだ。えらいところで会つたものだ。

「先生と一緒に来たかったわ。今晚、卒業させてもらつたお礼させてちょうだい！」

と甘えられ、さつそく、ラ・トゥールジャルダンの鴨料理の招待を受けることになつてしまつた。

鏡張りの天井に、セーヌの遊覧船の灯が映え、その光が緑の大理石の床に反射する三階の特別室で鴨に舌鼓を打ち、ブランディのほろ酔い機嫌に、「もう死んでもいい！」と、Y娘と手を握り合つた途端、ダニエルから電話で、

「例の女が、今夜、十一時、部屋へ行く。女は適当にこちらで選んでおいた。ホテルで伝言を聞いて電話している。」

というのだ。時計を見れば、もう十時半だ。

H・ジユニア氏は、タクシーを呼んでもらつてホテルに飛んで帰り、明日の晩の約束をしてY娘とロビーで体よく別れると、自室へ転がり込み、散らかつたスーツケースを必死でまとめて鍵をかけ、全部ダブルベッドの下へほうり込み、盛装のまま、ベッドに仰向けに寝ころがつて女を待つことにした。

「局部だけでも洗つておきたいが、時間もないし、ビデもない。不思議だ。諦めるにしよう。もう約束の十一時だ。何かの手違いで明日になつたのでは？ カーテンも閉めだし、バックミュージックのスイッチも入れてある。万事OKだ！」

その時、「トントン」とドアが鳴つた。彼の心臓も鳴つていて。彼は跳ね起き、ドアの所へ飛んで行つて、ロツクを右へ廻した。

「日本と逆だ」

ドアを半開きにした途端、

「ボンスマール、先生。私、寝られへん。お客様まだですの？」

と、Y娘がジロジロ部屋の中を見廻している。

「殺してやりたい！」

「何か？」

「帰りはつたらお電話くださいます？」 部屋のテレフォン番号をお知らせしときたかったの

と彼女は紙片を出した。



な頭に、羽毛のように軽やかな金髪は、思わずなぜなくなる。顔は、一見、猿のようだ。しかし、可愛い鼻は愛嬌がある。よく見ると、顔も、手足も、体のどの部分も華奢に、丹念に作られていて、骨董的な美しささえ感じさせる。狭くかっこいい肩は、男なら誰だって抱きたくなるだろう。早く寝たいが、やせても枯れても、日本のインテリの端くれだ。あんまりガツガツしたところは見せたくない)

H・ジュニア氏は氣づまりになり、立上って窓を開けた。手の届きそうなエッフェル塔の黒い影に向って、二人は肩を抱き合って立つた。

「エッフェル塔の灯も消えたわ。あなたは十六、私は十一。もう遅いわ。早くお寝んねしましよう！」

（泣かせる言葉だ。さすがは、パリのプロフェッショナルだけのことはある）

「ウイウイ」と、彼が窓のカーテンを引く中に、彼女はピッタリももについたティッドラビドスのジーンズを、破れないようすらせ始めた。下からは、惜気なくブルーの恥毛が、その見事に刈込まれたハート型を現わしたのである。マメの所が小高く、周囲は薄く刈込まれている。正に恥毛の芸術だ。今パリでは、ハート型が流行と聞く。

（何というけな氣な、客へのサーヴィスであろう）

H・ジュニア氏は、いじらしくなって、彼女のそばへ飛んで行き、可愛く狭い肩を抱いて、立つたまま、その薄い魅力的な唇に最初のキスをした。

（パリのプロフェッショナルは、ただ寝るだけではないのだ。涙ぐましいサーヴィス策を練っている。正に、プロフェッショナルである。あそこも、定めし煉れていることだろう。一体どんな秘芸を、彼女は練っているのだろうか？ 後が楽しみだ。）（以下、次号につづく）

「トントン」、三十分遅れて部屋の戸が鳴って、プロフェッショナルは、風のように秘かに、ドアのすき間をすり抜け無事、中へ入ったのである。

「ボンスワール！」

と、パリジェンヌの小声は鈴のようコロコロと鳴る心地よいフランス語。Y嬢とは、えらい違いだ。彼女はその薄く引締まつた唇に、終始、微笑を浮かべている。

（すいも甘いもなめ分けた、知性の香氣さえする軽妙洒脱な大人の微笑だ。早く奪いたい）

ドアの所で、彼女が靴を脱ぐと、H・ジュニア氏より少し低くなつた。丸いトビ色の瞳は、慈母のように慈愛に満ちて、彼をじつと見つめている。

（こんなに洗練された微笑や目つきは、小さい時から、ブドー酒を飲まされているからではなかろうか？）（年は、二十四くらいか？ 中肉、中背、抜群のプロポーションはさすがだ。ジーンズルックがよく似合つて、特に、ピッチャリしたものと、お尻がたまらない！ 小さ

あけましておめでとうございます

旧年中はいろいろとお世わりになりました
新しい年もよろしくお願ひいたします

昭和50年 元旦

1/6 (月) 新春初笑い大会

—落語家と一緒に遊ぼう—



12月30日から1月5日までは休ませていただきます



フラメンコの店

エル・ヴィノ

5:00 P.M. - 2:00 A.M. (日曜祭日 12:00 A.M.) 水曜日定休
第1・3土曜日はフラメンコ舞踊のショータイム
神戸市生田区北野町3丁目48 アニルドマンション1階
☎ 241-1344

あけましておめでとうございます

今年も花のおふくろの味をよろしくお願ひいたします



- こん立て●

- たかのり弁当

- やよいの里

- 花そうめん

- みむろそうめん

- 天ぷら

- おつくり

- 湯どうふ

花

和風季節料理

11:30 A.M. ~ 8:00 P.M. 月曜日定休
さんプラザ地階 ☎ 331-0087

A HAPPY NEW YEAR

● 1975 ●

旧年中はお引き立てをいただき
ありがとうございました。

レストラン“カルバドス”は、
新しい年も、音楽のあるシャレた
神戸っ子の店として、みなさまに
親しまれるように、一層洗練され
た店づくりを目指しております。

本年もよろしくお願ひ致します。

〈ピアノ&ボーカル〉

月・水・金・土曜日 山本憲一、羽岡利幸、火・日曜日 阪本完二

レギュラー 高橋真知子

〈メニュー〉

ヘレミニッツステーキー￥ 2,000 ピーフシチュー——￥ 1,500

エビとパンのフライ——￥ 800 ミートポールシチュー——￥ 1,300

サラダ——￥ 500 タンシチュー——￥ 1,300

バレンタイン——￥ 500 バレンタインボトル——￥ 7,000

7:00P.M.~2:00A.M. 木曜日休み

Restaurant
Calvados

神戸市生田区山本通4丁目97

PHONE 231・6137~8

